

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営方針と理念を基にその都度話し合いにより職員間で共有を図っています。職員室内に理念を掲示して、常に実現にむけて取り組んでいます。	事務所内に地域密着型としての理念が掲示され、またその都度、職員間でも理念について話がされ職員全体で理念について共有実践がされています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	読み聞かせなどのボランティアに来て頂いたり、町の敬老会への参加や地元保育園との交流会など、地元との交流深めています。	近隣の保育園との交流や、夏祭りや敬老会等の地域行事への参加があります。また、読み聞かせや、傾聴のボランティア等の受け入れもあり、利用者が地域の一員として生活が送れるよう支援されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して自治会との交流を図り、委員の方の意見や協力によりボランティアの方に参加して頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者の意見を取り入れ職員の気づかない部分の意見を尊重し、多方面の意見要望を取り入れサービス向上に努めている。	利用者や家族、地域の方（民生委員）の参加があり、事業所の活動内容等報告し、意見交換を行っていますが、開催頻度が4ヶ月に1度となっています。	2ヶ月に1回の開催ができるよう、紀美野町の地域包括と連携を図るなど、日程調整（日曜や夜間）及び参加者召集の工夫をしてはいかでしょうか。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議への参加のお願い。「紀美野町にこにこネットワーク」への参加、協力等による連携を行う。交流会のパイプ役になって頂く。	日頃から役場の職員と連絡を密に取り、何かあれば相談に乗ってもらい、助言を頂いています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	人権擁護推進員の活動や身体拘束廃止委員会により職員一丸となって身体拘束のないケアに取り組んでいます。ただ、玄関については地元区長より「本人の安全の為施錠して欲しい」と要望があり施錠しています。職員は閉塞感がでないよう努めています。	法人内に身体拘束廃止委員会や人権擁護推進員があり、研修など行い、身体拘束のないケアに取り組んでいます。利用者の安全面を考え、また地元区長の申し出もあり、やむを得ず玄関等の施錠が常時されています。	職員の身体拘束に関する理解をより一層深め、職員の見守り体制づくりや、少しの時間からでも鍵をかけない時間を作るなど、鍵をかけないケアの工夫をされてはいかでしょうか。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	人権擁護推進員を中心に内外部の研修や職員の話し合いにより意識の向上に努めています。		

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度や権利擁護について学び、個々の必要性に応じ制度を活用できる体制をとっています。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書により利用者様やご家族様に十分な説明を行い理解、納得のもと契約して頂いています。		
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「苦情相談窓口」を設置すると共に、年一回のアンケート調査を行い速やかに対応できるようにしています。外部者では「第三者委員会」を設置しています。	利用者の声には常に耳を傾け、家族に対しても面会時に積極的に声をかけ、何でも話せる関係づくりがされています。また、年1回アンケート調査を実施するなど意見を言える機会が設けられ、運営に反映するよう努めています。	
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	月1回の会議を設けると共に、カンファレンスの必要な時は随時実施し意見を反映させています。	毎月職員会議を開催し、職員が積極的に意見が言える機会作りがされています。また日頃から職員間でも話し合いを持ち、ケアの質の向上に努めています。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の個性を引き出し得意分野に生かせる様にしています。内部研修を通じて各職員がやりがいを持っていきいき仕事出来るようにしています。		
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修については、マニュアルを元に先輩職員よりOJT教育を受けています。また、新人既存問わず内・外部研修についても積極的に参加出来る機会を確保しています。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着型地域ケア会議(介護をかんがえる会)に参加することにより、他事業所とのネットワークを通じてサービスの質の向上に努めています。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所される事への不安、希望、要望をじっくり話し合いホーム内を見学して頂き説明している。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族の不安、希望、要望及び本人様の生活状況をお聞きし連絡を密に取り相談し合っている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホームでのサービス内容を利用できる資源の情報の提供をしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	年間行事の慣わしなどを教えて頂いたり、一緒に生活しているという関係を築いている。	
19		○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様の面会時、本人の意思などを代弁し、家族様と共に支えていく雰囲気を作っています。	
20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族はもちろん親類や友人の方にも面会に来て頂いたり、会いに行かれるなど交流が途切れないようにしている。	家族や友人との外出、また友人をホームに招いたり、楽しい時間が過ごせるよう支援されています。また、馴染みの場所への外出は家族の協力を得ています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の個性を理解し、趣味等を活かして関わり合えるように利用者同士のムードを感じとっている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併設施設に入所されて方へは、利用者様同士のムードを感じとっている。	

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の希望を取り入れている。困難な場合は本人本位で検討し、家族様に確認し、その人らしく暮らし続ける支援に取り組んでいます。	日頃から利用者1人1人との関わりを大切にし、普段の話の中から思いや意向の把握に努め、家族とも相談し、その人らしく生活が送れるよう支援されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	本人様、家族様より今までの生活歴、環境、暮らしぶり等をお聞きし、把握していきます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の介護日誌の記録、職員間の連絡ノートにより把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回ケース会議を聞き毎日のミニカンファレンスで職員に意見を反映させた介護計画を作成しています。	定期的にモニタリングを実施し、本人及び家族に思いを聞き、それをもとに職員間で意見交換を行い介護計画に反映させています。介護計画は3ヶ月に1度の見直しと、随時状態の変化にあわせて見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	心身の状況を個人別に整理し連絡ノートに記入し情報を共有するとともに、介護計画見直しにいかしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日のミニカンファレンスの中で状態変化に応じた見直しを行い職員間で共有し支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元保育園や読み聞かせなどのボランティアの来園があり、地域との接触を継続し広げています。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院から週一回と必要時には二回の往診。また、リハビリも週一回の往診があります。医師との連携を密にし、緊急時にも対応可能にしています。	提携病院から週一回の往診を受けています。また、利用者・家族の意向により、希望の医療機関への受診についても、家族の協力も得ながら柔軟に対応されています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	併設施設の看護師と連携を図り、バイタルサインや急変時等の相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関と連携を密にとり、家族様を交えて早期退院を支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の支援は家族様と話し合いターミナルケアの同意書を作成し、家族様、本人様の意向を確認し職員と方針を共有した支援を行っています。	入居時に本人や家族の意向を聞くほか、重度化に応じて家族と医師と話し合いを行い、意向の確認を行っています。家族の気持ちの変化にも柔軟に対応するため、その都度話し合いが行われています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの使用による救急救命研修の実施や併設施設看護師より応急処置や初期対応について習っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	併設施設マニュアルに基づいて防災体制をつくり年一回の消防訓練を利用者様、職員とも受けています。	法人全体で年一回の消防訓練を入居者と共に行い、災害時の備蓄もされています。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>その人に合った言葉使いや対応を心掛け尊厳と権利を損なわないよう努め本人様の誇りを維持し、プライバシーの確保が出来るように努めています。</p>	<p>内部研修を行い、又その都度何かあれば話し合いを行い、尊厳と権利を損なわないように努めています。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>プライバシーに心掛け自己決定しやすい雰囲気作りを行っています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人様の意思優先で支援し、個々の希望が取り入れられるよう支援しています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>好みの服装を選んで頂いている。理容は外部から偶数月に来て頂き本人様の希望を伝えている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎月一回のお誕生日会メニューを提供している。また、職員も利用者と同じテーブルを囲んで楽しくできる雰囲気づくりを行っています。</p>	<p>利用者と職員と一緒に和やかに食事をされています。食事は法人の厨房で作られた給食になっていますが、おやつは利用者と一緒に手作りするなど楽しみの持てる機会作りもされています。</p>	<p>生活の中で重要な位置にある食事について職員間で話し合いを行い、月に1度からでも職員と利用者が一緒に食事を作る機会を設けてはいかがでしょうか。五感に感じる事も楽しみになると期待します。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量を毎食、一日の水分摂取量をチェックをし、栄養バランスを考えて献立をたてています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアが自分で出来る方への声かけ、出来ない方への介助を行っている。</p>		

43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人一人の排泄チェック表からパターンを把握し、気持ちよく排泄出来るように支援している。	一人ひとりに合った排泄パターンを把握し、トイレ誘導やポータブルトイレを使用し、利用者個々に合わせたリズムで排泄支援がされています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の献立に工夫し、排尿や排便チェック表で管理すると共にフロアで歩行訓練や腹部マッサージを行う。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	基本の入浴日に利用者様が、気分が乗らない時は無理強いせず、時間をおいたり、後日入浴して頂いています。	週に3回の入浴日が決められていますが、利用者の体調や希望に応じ、時間及び曜日の変更も可能で、ゆっくりと一人一人の気持ちに合わせた入浴を支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡時間の調整や日中の活動気分転換等で休息、安眠を促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表があり、内容把握が出来ており、服薬支援と症状の変化に注意しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	共有場所にて各人の出せる部分の担当でぬり絵や洗濯物たたみ等、一人一人の能力に応じた役割、楽しみができる支援を行っています。		

49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	地域の敬老会などのイベントに参加していますが、体力的に困難な方もおられません。また、天気の良い日には散歩など外に出るようにしています。	花見や初詣・ドライブ等の外出の支援が行われています。又、個別に散歩や日光浴も職員が付き添って支援されていました。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理の出来る方は、ショッピング等で自分で支払われます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族様や知人の方の面会が頻繁にあり、宿泊もできます。希望があれば電話をしたり、手紙の表書きの代筆等の支援を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ひな人形や五月人形、クリスマスツリー等を玄関に飾り季節感を感じるようにしています。	玄関やリビングが広々と開放的な空間になっています。食堂の窓も大きく見晴らしがいいので、室内からも季節を感じることが出来ます。また利用者の作品も飾られ居心地よく過ごせる空間になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファ、テレビを置きテーブルで新聞を読んだり、ランプや折り紙、塗り絵等を行い共有できる空間を空間作りをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込まれており、プライバシーの保護が出来る居室の配慮に心掛けています。	一人ひとりの希望に添って、馴染みの品物や家具・テレビ等を持ち込み、居心地よく過ごせる工夫がされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の入り口に表札を上げ分かり難い方には大きな字で書いた名前を貼り、大きな手作りの日めくりを食堂に掛け、日時の認識をしあっている。		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	③	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています		①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	③	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	③	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	①	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	②	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない